

予算決算

一般会計補正予算

◎総務部所管

問 運転免許自主返納者数増の見込みは。

答 上半期の執行具合では年間で152人、月平均約13人となり、当初予算対比、月当たり2人程度増える見込みである。

問 新たに第8分団の消防詰所を建設するが、面積約90坪に対して、造成

工事に係る費用が1100万円の予算を計上しているが妥当か。

答 基本的には、設計業務で上がったきた積算を参考に、まちづくり課で精査した金額である。

問 第8分団消防詰所建設に係る今後の計画は。

答 令和5年度当初予算に建築等の工事費を計上予定。令和6年2月末に竣工予定である。

意見

消防詰所の建設に対して、地域住民への理解・協力を得られるよう、事前説明をしっかりと行うこと。

◎産業建設部所管

問 福徳泉公園に発生した水草の処分を業者委託するが、草刈りと同じ公園管理業務として行うべきでは。

答 公園内の芝生広場の除草等の管理は業務委託しているが、水面の管理は契約に入っていない。

問 水面も含めて公園管理業務ではないか。

答 今回の水草処分は、水面を覆い尽くして大量発生しているボタンウキワサヤホテイアオイを除去するものであり、公園管理業務とは別のものと考えている。

消防団活動の拠点整備、都市公園の適正な維持管理など、安全・安心な生活環境づくりに関わる予算を可決

問 ①海水汲み上げ用ポンプ等整備事業は継続事業となっているが、新規事業ではないのか。

答 ②補助率は事業費の2分の1だが、全体の事業費の記載がないのはなぜか。

答 ①平成24年に海水汲み上げ用ポンプを設置している。今回は設備の更新と捉えているため継続事業としている。

問 ②事業費の実施主体は松前漁協であり、漁協が施工する工事に対し、町が助成するという考え方である。121万円の工事費の半額を助成するという記載をしている。

問 松前保育所跡地の地下に筒井地区雨水貯留施設を整備することは聞いていたが、義農公園の地下を利用するとは聞いていない。説明と違うのではないか。

答 当初の計画で基本設計を行った結果、土留めの延長が長くなり、事業費が高くなることが判明した。そこで、義農公園の地下を活用することで、間延びする施設が整うことにより、土留めの施工コストが抑

えられ、総事業費の縮減につながる。

また、施設の容量を決めた基準としては、平成29年の台風の雨量をもとに、車の通行が可能な20センチ程度の浸水に抑えるため、必要な容量を計算した結果、1万立方メートルの施設をつくることで、筒井地区の浸水被害の軽減が十分図られる。

また、義農公園には駐車場がない。駐車場の整備や、地下の雨水貯留施設の上には遊具などは十分設置出来るので、公園機能として、今と変わらない形で利用できると考えている。

意見

15億円もかけて整備する必要があるのか。最小限の規模でいいのではないか。当初の計画どおり、保育所跡地内に貯留施設を整備すべきである。

意見

浸水被害対策のための雨水貯留施設の整備であり、計算して計画を策定している。浸水被害を防止・軽減することは、本町の永遠の課題である。



水面が見えない福徳泉

